当院の医師を紹介します

内科の非常勤医師として、内視鏡検査・治療を担当してきた三木健司医師。2010年10月から常勤医師として、内科外来・健診・内視鏡検査を担当することになりました。当院での今後の抱負などについて、お話を伺いました。

Topics

三木 健司（みき けんじ） 医師

岐阜県岐阜市出身。愛知医科大学卒。
内視鏡検査・治療を専門としています。患者さまの痛みが少ない、短時間での検査を心がけています。お気軽にご相談ください。

―― 10月から内科の常勤医師となったわけですが、先生の専門分野について教えていただけますか。

三木：一般内科・消化器内科を担当します。特に内視鏡検査・治療を専門としています。

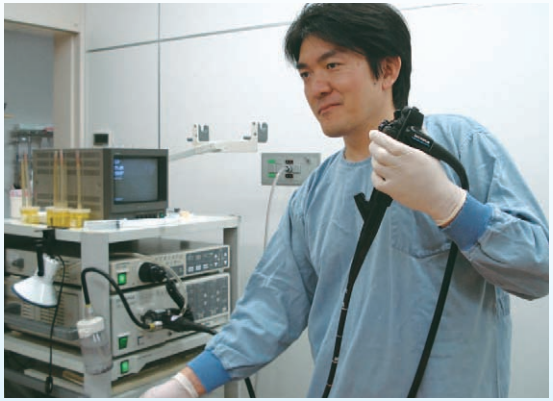
―― 当院の印象はいかがですか。

三木：非常勤医として勤務を始めて1年後くらいに病院の南側が建て替えられたのですが、ギャラリーに絵を飾ったり、内装に凝ったりして、すごくおしゃれだと思います。私自身、以前から、病院に絵を飾ったり、緑を配置したりするのは、患者さまにとって良い環境づくりになるので、大事だと思っていました。

―― 当院で今後、どのようなことを目指したいですか。

三木：4年半前から三九朗病院で大腸内視鏡検査を担当してきました。

年々、検査数を増やし、2009年度は年間200件を超える検査を行いました。今後は、常勤医となるので検査件数をさらに増やしていきたいです。胃内視鏡検査も非常勤医と2人体制で検査日を増やして行っていきます。



モニターだけでなく、患者さんの状態も確認しながら検査を進めていきます。

大腸がんは早期に発見し、治療すれば完全に治すことができます。胃がんも早期に発見することで治りやすいがんです。どちらのがんも症状が出る前に、早期発見することが重要ですから、40歳を過ぎたら、定期的にがん検診を受けることをお勧めします。

今後は、外来の患者さまだけでなく、健診で来られた方も、より検査を受けやすい環境をつくりたいと思います。また、検査の結果説明にも時間をかけ、患者さまが検査後も安心して帰宅できるようにしたいと思っています。

―― ご出身はどちらですか。

三木：岐阜県です。金華山に歩いて行けたので、子どものころはよく遊びに行っていました。現在は、妻と小学校の息子、娘の4人家族で、名古屋市に住んでいます。

―― 趣味や特技は何ですか。

三木：ミニカーのコレクションです。自宅のコレクションケースには、ミニカーをずらっと並べて飾っているんです。車の運転も好きですね。それから、ディズニーリゾートに行くのも好きで、職場や友人の間でも“ディズニー通”と言われています。

―― 患者さまにひとことメッセージをお願いします。

三木：内視鏡検査はおまかせください。分からないことは何でも聞いてください。

三木先生のマイブームはラーメン屋めぐり！